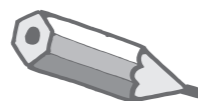


## 事務局からのお知らせ

平成30年新年賀詞交歓会を下記のとおり予定しております。  
ぜひ、ご参加ください。

- ★日時 平成30年1月21日(日) 一泊
- ★会場 水上温泉 水上ホテル聚楽



## 編集後記

早いもので今年も残すところ僅かになってしまいました。

平成29年を振り返りますと、ここ数年の異常気象に変わらずさまざまな自然現象が起きた一年になりました。雨続きの夏や気温差の激

しかった秋、そして10月には2度も台風に見舞われ、最後に発生した台風23号は上陸が10月23日で、観測記録史上3番目に遅い上陸だったと知りました。

そして、8月と10月は雨続きの毎日でした。気分の晴れない日が多く、日常の家事から開放され一路バカンスへ逃避行したい気持ちで日々を過ごしていました。年越しを海外で過ごすなどという儂い夢は夢で終わるのも確定しております。

もうすぐ平成30年がやってまいります。2月に開催される平昌オリンピックも楽しみです。いつもと違った場所へ旅もできたらいいかなと、想いはせらせて気持ちだけは明るく師走の忙しい時期を乗り越えようと思います。そして、皆様の新しい一年が良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



会報

# 造園群馬

No.91 平成29年12月1日

発行 一般社団法人群馬県造園緑化協会  
前橋市朝日町3-12-20 TEL.027-243-5693

編集 株式会社ジャスト編集部  
前橋市間屋町2-3-5 TEL.027-289-2500

印刷 小島印刷株式会社  
伊勢崎市西小保方町501-4 TEL.0270-62-3298



## 赤城神社

前橋市富士見町赤城山 4-2

## 赤城大明神を祀る

全国には関東地方を中心に約300もの赤城神社があるといわれるが、中でも特に、山腹の三夜沢赤城神社または山頂の大洞赤城神社が総本宮とされる。本項の赤城神社が前述の「大洞赤城神社」で、群馬県の赤城山を神体山(赤城大明神)として祀っている。

設立(神社建立)の年代は不詳だが、大同元年(806年)に、神庫岳(現在の地藏岳)の中腹から遷宮したという記録が残っているという。大洞の地名は遷宮時の年号に由来する。

冬は豪雪に見舞われるものの、新緑から紅葉にいたるまで四季の風景のよさに加え、年間を通して多くの祈願祭などが行われることから、地元はもちろん県外からも多くの参拝客や観光客が訪れる。ちなみに11月後半以降の年内では「新嘗祭・神無月祭」(11月23日)、「大祓へ」(12月1日)、「除夜祭」(12月31日)などがある。

平成18年には「大洞御遷宮千二百年祭」を奉祭斎し、社殿の修復と境内地を整備した。



祈願の受付内容はさまざま。心身健康や無病息災をはじめ、病氣平癒や開運招福、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全は言うまでもなく、学業成就や試験合格、芸事上達、必勝・当選、良縁・縁結び、子授け・安産・子育て、初宮詣・七五三・厄除け・方位除け・心願成就など。

標高1,345mの山頂にある大沼はカルデラ湖。面積は88ヘクタール、最深部は16.5メートル。毎年8月初めには赤城山夏祭りが行われ、花火大会などが開催されて賑わう。湖上ではボート遊びができ、冬の氷上ワカサギ釣りは赤城山の風物詩として知られる。



〔願掛け鱒〕大沼と小沼は、古くから赤城山とともにご神体として信仰されてきた。湖に願いを託した鱒を放流し、成就の暁には再び鱒を奉納するという信仰がある。重い病や苦しみからの回復を託された鱒を釣ると、これらを被るとも言われ、祟り鱒と呼ばれる。

Sports Magazine **Standard** スタンダード

地域をひとつにするのはスポーツだ!

スタンダード群馬 Vol.5 1・2月号 2017年12月28日(木) 発売予定

- 創刊/2017年3月 ●発売日/偶数月28日
- 発行エリア/群馬県内書店・コンビニエンスストア
- 定価/800円(税込) ●発売元/山口北州印刷株式会社

群馬県サッカー協会公認 登録93チーム掲載! Standard別冊 群馬少年サッカー名鑑 2017 12月12日(火) 発売予定 1,230円(税込)

群馬県ミニバスケットボール連盟公認 登録男女159チーム掲載! Standard別冊 群馬ミニバス選手名鑑 2017 11月27日発売 1,230円(税込)

http://www.iwatstandard.jp/standard\_gunma.html  
広告掲載のお問い合わせは株式会社ジャスト営業部 TEL027-289-2500(代)

# 第30回 安全衛生大会開催

●とき／平成29年10月12日(木)午後2時30分～4時40分 ●ところ／前橋地区高等職業訓練校



今年でちょうど30回目となった安全衛生大会が、前橋地区高等職業訓練校で開催されました。進行役がすっかり板についた福田勝巳専務理事により、開会の言葉が述べられて大会がスタートしました。

始めに武藤敏彦会長があいさつされ、多忙にもかかわらず大勢の会員の方が大会に参加いただいたことや、日頃の協会の活動に協力いただいていることへの感謝を述べるとともに、本日の安全講話をしっかりと認識していただき、これから一年、ケガなどしないで安全に頑張してほしいとお話をされました。

表彰式では、前橋支部の有限会社駒形造園(木暮幸一社長)さんと、桐生支部の株式会社さくら農園(木村聡社長)さんの二者が対象となり、労使協力して職場の安全衛生確保に積極的な努力を払い、その実績が他の事業所の模範となった、ことを称えられました。

今年には北光園の北瓜光久さんが、前橋支部に新しく会員として加わりました。北瓜さんは、7月に開業したばかりでわからないことも多数あるので、皆さんのご指導をお願いしたい、また、会にも積極的に参加するつもりなのでよろしくお願ひしたいなど、力のこもった入会のあいさつをされました。

安全講話は、前橋労働基準監督署から署長の木村英俊氏をお招きし、「労働災害の発生状況と課題」というテーマでお話いただきました。

労働災害は中長期的には減少しているものの、近年

は増加傾向にあり、特に超高齢化によって高齢労働者の災害が増加するとともに、雇入れ後間もない労働者の災害も増加しているという現状が説明されました。

その背景には労働力需給の逼迫をはじめ、技術やノウハウの獲得機会の喪失、継承の希薄化など、労働環境の問題があり、その対策の一つとして、メンタルヘルスを含めての健康管理が欠かせないとのことでした。

休憩をはさみ、群馬県農業技術センターの藍澤亨氏が、「クビアカツヤカミキリの生態と防除方法」と題し、スライドでの説明をまじえながら講演を行いました。

この昆虫は中国や朝鮮半島などから渡来したと考えられているようですが、この幼虫は樹木の幹に食い込

プログラム	
開会のことば 会長のあいさつ 表彰式	福田専務理事 武藤会長 有限会社駒形造園(前橋支部) 株式会社さくら農園(桐生支部)
新入会員紹介 安全講話	北光園 北瓜光久 前橋労働基準監督署 署長 木村 英俊
休憩 講演	クビアカツヤカミキリの生態と防除方法 群馬県農業技術センター 発生予察係 係長 藍澤 亨
謝辞 閉会のことば 終了	須永副会長 原田副会長
懇親会	どんさん亭 片貝店

み、ひどい場合には枯死させてしまうほどの害虫です。造園関係の仕事に携わる者からすればまさに「不倶戴天の敵」とも言える、見逃すことのできない邪悪な存在です。

この昆虫が繁殖しつづけて各地に蔓延すれば大変な事態になります。会場には実物の標本見本が回覧されま



福田専務理事の流暢な話術によって大会がスタート。プログラムは順調に進められていく。



武藤会長が、会員の皆さんへ口頭の感謝を込め、今後の安全を願っていました。



新入会員の北瓜光久さんが、あいさつの中で積極的な姿勢をアピールした。



木村所長による安全講話。高齢化問題や労働環境の整備などについてわかりやすく講義した。



## 安全を考える上で認識しておきたいこと

- 1、Life(生、人の命、人生、生きるということ)は等価という視点。
- 2、「人間は考える葦である」(パスカル)、そして「人間は間違える葦である」
- 3、組織としての仕事は効率的であり、安全である。
- 4、「段取り八分」と言われる所以あり。
- 5、3M(無理・無駄・ムラ)の多い職場は事故・災害が多い。
- 6、高齢労働者への配慮は、すべての労働者への配慮である。
- 7、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)は安全衛生の礎(もと)とい。
- 8、意思疎通・コミュニケーションのとれた職場づくり心がける。
- 9、教育・訓練は反復、継続して行うもの。
- 10、パワハラと教育・指導・注意・躰は似て非なるもの。

したが、それを手にした皆さんは、その毒々しいまでの姿に、真剣なまなざしで見入っていました。

終了後は、須永宜夫さんから藍澤氏へ謝辞が述べられました。

最後に、原田副会長による閉会の言葉で大会が終了し、その後はお楽しみの懇親会へと向かいました。



表彰を受けた、さくら農園の木暮さんと駒形造園の木暮さん。



害虫による被害は身近な問題だけに、質疑応答ではたくさんの質問が。



スライドを駆使して熱心に説明する藍澤氏。始めから終わりまで力がこもっていた。



クビアカツヤカミキリの標本。こういう機会でもなければなかなか目にすることはできない。この標本は成虫だが、悪いことをするのは幼虫の方。



講演を終えた藍澤氏に、須永副会長が謝辞を述べた。



原田副会長による閉会のあいさつで、第30回の安全衛生大会が終了。

# 成田山新勝寺・三崎漁港・横須賀軍港 千葉県成田山～三浦半島へ研修旅行

平成29年9月10日(日)～11日(月)



## 乾杯の`練習、で快調スタート

去る9月10日、11日に恒例の研修旅行が行われました。今回は千葉県成田山から三浦半島への研修となりました。バスは成田山新勝寺を目指し出発しました。予定では最後の乗り込み地である館林市役所まで車内での乾杯は控える事になっていましたが、武藤会長のお許しを頂き、練習のつもりで車内の酒宴がスタート。酒宴の練習は乾杯を迎える頃には大宴会になりました。

二日間を考えると予算のオーバーが明白となり、各支部からお祝金をほぼ強制的に頂きました。この場を借りてご芳志を頂いた会員の皆様、各支部の皆様ご無理を言って申し訳ありませんでした。御礼とお詫びを申し上げます。

楽しい時間を車中で過ごし、初日の研修地である成

田山新勝寺へ。新勝寺では参拝を済ませ、数名の方々は新勝寺境内にある出世稲荷にも参拝して頂きました。

初日の昼食場所は新勝寺の裏手にある「名取亭」という割烹料理の店でした。新勝寺の境内を抜け、裏手にある日本庭園を散策しながらお店に着きました。新勝寺周辺はウナギ料理が有名です。あえて鳥鍋を注文しました。通常、鳥鍋は限定10食程度しかなく売り切れ必至の鍋です。皆様には大変喜んで頂きました。

## 教養も栄養もたっぷり充実

車中の余韻か昼食の飲み物、宴会の飲み物もホテルから感謝状が頂けるほど盛り上がりました。翌日、ホテル出発後は薬局にて酒類を調達、東京湾フェリーで三浦半島の三崎漁港に向かい、昼食会場マグロ料理の有

名店「くろば亭」へ。マグロ丼よりマグロのカルビ焼きが好評でした。ご飯をおかわりされた方もいました。

最後の研修は、横須賀の軍港巡り。アメリカ海軍や海上自衛隊、海上保安庁の巡視船、運良く潜水艦の入港も見ることができました。

日も傾き、一路ふるさと群馬へ研修地を後にしました。報告の通り、写真は宴会の様子しかなく何を見てきたのか不安ではありますが、無事に終え安心しております。次回も皆様のご参加をお待ちしております。

(監事 福田勝巳)



## 技能検定実技試験が行われました

- 場 所 群馬県職業能力開発協会
- 実施日 3級/7月5日  
1級・2級/8月23日～25日



技能検定委員の皆様お疲れ様でした



氏名	支部
根岸 憲一	前橋
下山 勝雄	桐生
茂木 清美	桐生
樋下田俊明	前橋
木村重太郎	館林
須永 宜夫	桐生

# 建設工事の入札参加と経審

みくに労務管理事務所

国や都道府県、市町村等の地方自治体が行う公共工事の入札に参加するには、あらかじめ「入札参加資格審査」を受け「入札参加資格者名簿」に登録しておく必要があります。公共工事は、公平かつ公正な観点から、広い門戸で請負業者を募ることが求められていますが、公共工事を請け負った業者が技術力や財務面で工事を遂行するだけの能力がないと大きな問題となってしまいます。一定の要件を設け事前に審査を行い、名簿に登録された業者のみ参加できる仕組みになっています。

この要件の一つが、経営事項審査になります。略して「経審」と呼ばれています。建設業者は、建設業許可を取得している業種の中から入札参加を希望することが出来、入札参加を希望する業種について経審を受けなければなりません。経審では、次の4項目について審査します。

- ①経営規模
- ②経営状況
- ③技術力
- ④社会性等その他の審査項目

この4項目から算出された点数をもとに、総合的に評価された総合評定値(P点)が算出され結果通知書が発行されます。この総合評定値(P点)が、入札参加資

格において建設業者の格付けに利用されています。それは工事の規模およびそれに必要な技術力に見合う能力のある建設業者に工事を発注する必要があるからです。

経審は、決算の内容を基準に受けるため、基本的に決算日が審査基準日になります。有効期限は、審査基準日より1年7カ月です。例えば、決算日が平成29年1月31日で、これに基づき受けた審査は、平成30年8月31日まで有効となります。有効期限を切らさないためには、毎年決算が終わるたびに審査を受ける必要があります。

入札参加資格審査は、国、都道府県、市町村等、発注機関ごとに申請する必要があります。また、多くの発注機関では経審で算出された客観的評価の総合評定値(P点)に加え、主観的な評価項目を設けています。例えば群馬県では、優良工事・技術者表彰状況、地域への貢献活動、環境活動への取り組み、ワーク・ライフ・バランスの推進等を行っている建設業者に対し加点を行い、合計点数により格付けを行っています。

発注機関により、入札参加資格審査申請書の提出方法、受付期間も異なりますので、事前に確認し、早めに対応されることをお勧めします。



エッセー 木々是好日 31

## 右に巻く「藤」 左に巻く「山藤」

新木としろう (グラフィックデザイナー)

藤はマメ科フジ属に分類される、生粋の日本の植物だ。つまり、日本が原産だ。「山藤」など数種が各地に自生していて、古くから日本人の暮らしに関わってきた。

和名は「藤」。「野田藤」という別名も持つが、これは、大阪の野田地区が古くから藤の名所であったことに由来するらしい。

英名は「Japanese wisteria」。wisteria (ウイステリア) は藤という意味だから、そのまま素直に「日本藤」ということになる。話はそれるが、秋の味覚である柿はアメリカでも和名のまま「kaki」で通っている。津波も「tsunami」で市民権を得ている。そういう観点で考えれば、藤だって原産地が日本なのだから「Fuji」でよさそうなものだがそうはならなかった。

つるの巻く方向は右と左の2種類。一般的に言う藤は時計方向、つまり上から見て右向きに巻いていくが、山藤はその反対、左へと巻いていく。

山地に自生する藤は日当たりのよい傾斜地などに多いが、あの頑丈なつるがそばの樹木に巻きつき、ときには引き倒してしまうこともあるらしい。藤に限らず、つる性の植物は元来タフにできているようで、拙宅の庭先に植えたキウイなどは、数年前に根元近くから伐ったにもかかわらず、いまだにひこばえのようなものが生えてくる。少し伸びるとまた伐るという繰り返しだ。

4月の半ばになると花が咲き始める。長く垂れ下がる

総状花序に、蝶のような形の小さな花がつく。花序の長さは20cmから50cmほどで、5月上旬まで、紫やピンク、白などの花を咲かせる。

果実は細長い扁平で、長さ15cmから30cmのサヤに入った豆形をしている。花はたくさん咲くが、果実のサヤはひとつの房に2、3個しかならない。つまり、ほとんどの花は果実が実ることのない「あだ花」なのだ。なんだか気の毒にも思える。

樹皮は木質で堅く、細かい毛が密生している。木質だろうが堅かろうが、所詮つるだからたいして役に立つかまいと思っていたが、そんなこともないらしい。つるの年齢によっては家具などの材料として利用できるし、若くて細い時期なら籠(かご)、太くなったらイスの脚というような使い方がある。平安時代中期までは、つるから繊維を採取し、衣類を編んだり「藤紙」と呼ばれる紙を作ったりしていたという。

花は湯がいてから三杯酢や天ぷらにして食べることができるというのが、残念ながら私は食べたことがないので、旨いかどうかはわからない。葉も茹でれば食べることができるそうだが、たぶん旨くはないだろう。

ところで、藤の花にも花言葉がある。「優しさ」「歓迎」「決して離れない」「恋に酔う」などだ。どんな人が、何を根拠に作った言葉だろう。



9月頃から11月頃の時期に実をつける(この写真は11月2日に撮影したもの)。空気が乾燥して葉が散る時期になると、サヤがはじけて種が飛び散る。種は直径1.5cmほどの円盤形。



キウイやブドウなどと同じく、自力で直立することは不可能。人間が面倒をみるから棚に頼れるが、自然界であれば周辺の木に巻きつかさかれない。巻きつかれる木こそいい迷惑だが、もしも周りに木がなかったらどうなるのだ。地を這ってでも生きていけるのだろうか。